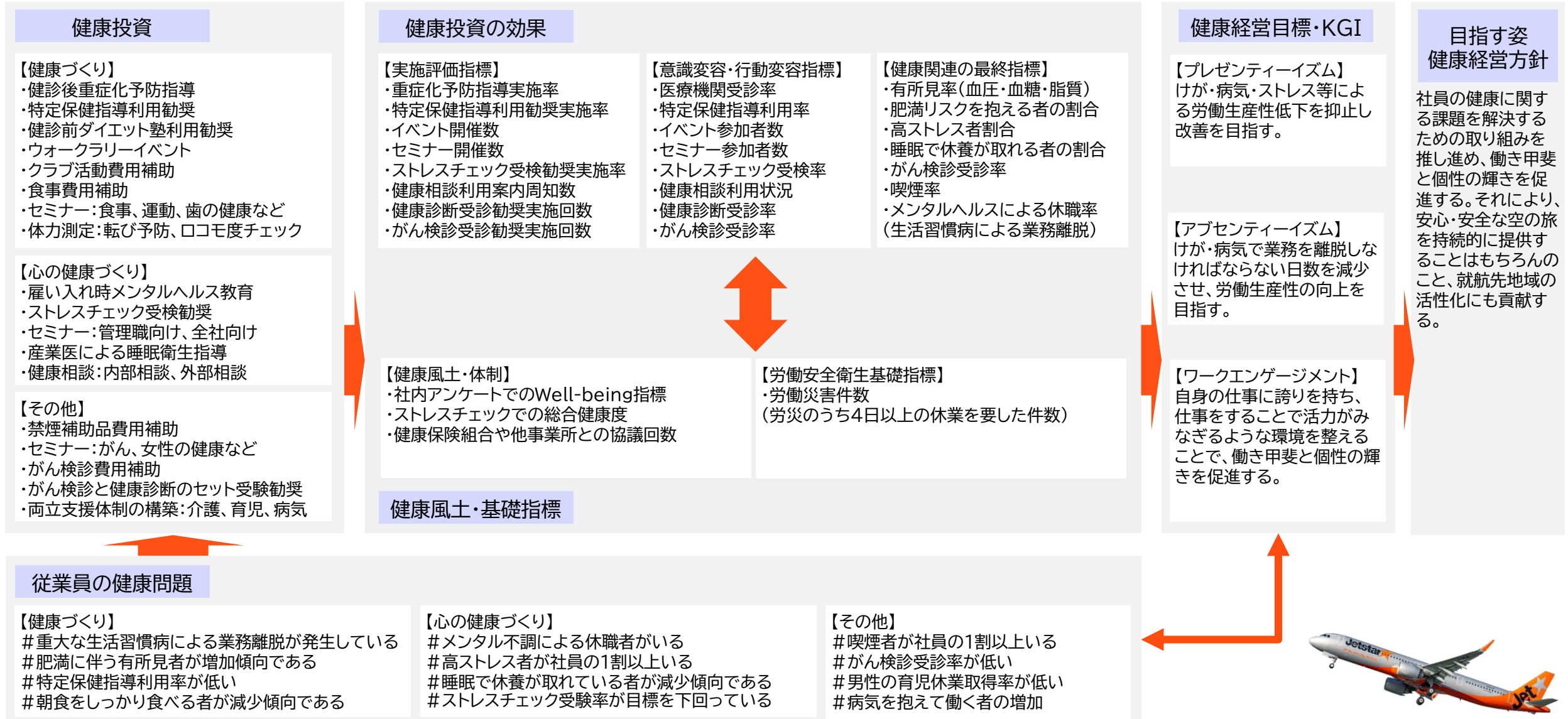


健康経営 2025年度

ジェットスター・ジャパン株式会社



II. 健康経営推進に向けた取り組み(戦略マップ)



Ⅲ. 健康経営における目標・現状値

分類	評価指標（目標項目）	カテゴリー	現状値（2024年度）	平均値	開始前（2022年度）	目標値	目標方向性	評価年度
最上位目標	ワークエンゲージメント	健康経営	2.8点	2.5点	2.7点	3.0点	向上	2030年度
	プレゼンティーズム	健康経営	19.6%	18.7%	19.4%	15.0%	減少	
	アブセンティーズム	健康経営	6.8日	4.2日	7.3日	5.0日	減少	
中長期目標	有所見者割合（血圧）	健康づくり	8.7%	10.0%	6.5%	7.0%	減少	2028年度
	有所見者割合（血糖）	健康づくり	2.6%	2.8%	1.2%	2.0%	減少	
	有所見者割合（脂質）	健康づくり	23.3%	29.6%	1.6%	20.0%	減少	
	メンタルヘルス疾患に起因する休職率	メンタルヘルス	0.6%	1.0%	0.9%	0.6%	維持・減少	
	高ストレス者割合	メンタルヘルス	11.2%	14.6%	12.2%	10.0%	減少	
	労働災害件数	労働安全	12件	-	17件	0件	減少	
短期目標	肥満リスク者割合	健康づくり	27.7%	27.4%	23.1%	20.0%	減少	毎年
	朝食をしっかりと食べる者の割合	健康づくり	63.6%	65.1%	63.7%	70.0%	増加	
	習慣的に汗をかく運動をする者の割合	健康づくり	35.8%	29.6%	32.4%	36.0%	維持・増加	
	睡眠で休養がしっかりとれる者の割合	メンタルヘルス	77.7%	67.3%	78.2%	80.0%	増加	
	習慣的に喫煙する者の割合	その他健康	13.6%	14.0%	14.1%	12.0%	減少	
	平均有給休暇取得率	健康経営	91.3%	65.3%	66.7%	91.0%	維持・増加	
	男性の育児休業取得率	健康経営	66.7%	40.5%	22.9%	85.0%	増加	
行動変容指標	定期健康診断受診率	健康づくり	98.9%	-	98.0%	100%	増加	
	定期健康診断後の保健指導実施率	健康づくり	99.4%	-	-	100%	増加	
	特定保健指導利用率	健康づくり	51.6%	59.1%	56.8%	65.0%	増加	
	ストレスチェック受検率	メンタルヘルス	95.6%	80.0%	93.0%	97.0%	維持・増加	
	胃がん検診受診率	その他健康	5.2%	58.8%	4.6%	70.0%	増加	
	大腸がん検診受診率	その他健康	15.9%	72.6%	6.8%	80.0%	増加	
	乳がん検診受診率	その他健康	13.4%	57.3%	12.6%	70.0%	増加	
	子宮がん検診受診率	その他健康	13.4%	54.7%	10.8%	60.0%	増加	

●補足・備考①

・ワークエンゲージメント:最大を4点としている。ストレスチェックにおける「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」「自分の仕事に誇りを感じる」の2設問に対して、新職業性ストレス簡易調査票の得点計算法を用いて2項目の平均点をワークエンゲージメントとして集計。平均値は、ストレスチェック委託業者であるウェルリンク株式会社が実施した2023年度分回答実績による値である。

・プレゼンティーズム:従業員が心身の不調を抱えながらも欠勤せずに会社に出勤し、本来のパフォーマンスを発揮できていない状態のこと。ストレスチェック実施時に、病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価する項目を追加。その差分をプレゼンティーズムとして集計。平均値は、ストレスチェック委託業者であるウェルリンク株式会社が実施した2023年度分回答実績による値である。

・アブセンティーズム:従業員が心身の不調により遅刻、早退、休職、あるいは欠勤するなど、業務を行うことができない状態のこと。ストレスチェック実施時に、過去1年で病気や体調不良により働けなかった日数について回答する項目を追加。その平均をアブセンティーズムとして集計。平均値は、ストレスチェック委託業者であるウェルリンク株式会社が実施した2023年度分回答実績による値である。平均値と比較すると数値が高いように見えるが、ジェットスター・ジャパンでは傷病休暇(有給)を付与しているため、体調不良により業務に適さないと判断した場合は早期に仕事を休み、通院や療養がしやすい環境を整えていることが影響していると推測できる。(例:鼻づまり、喉の痛みなど)

●補足・備考②

- ・有所見者割合(血圧・血糖): 2022年度と2024年度で集計方法が異なる。2022年度は受診勧奨領域のみを集計していたが、2024年度からは保健指導領域に該当する者も集計している。平均値は、日本航空健康保険組合に加入する事業所全体の2024年度実績平均値である。
- ・有所見者割合(脂質): 2022年度と2024年度で集計方法が異なる。2022年度は中性脂肪の有所見者のみを集計していたが、2024年度からはLDLコレステロール・HDLコレステロールそれぞれの有所見者も含めて集計している。平均値は、千葉労働局令和6年度「グラフで見る千葉県の労働災害の状況」より、千葉県における項目別有所見率「血中脂質検査」を参照している。
- ・メンタルヘルス疾患に起因する休職率: 2024年度にメンタルヘルス疾患にて連続1か月以上休職していた者の数を集計している(前年度から引き続き療養も含む)。平均値は、令和6年労働安全衛生調査(実態調査)の概況より、事業所規模1,000人以上の「メンタルヘルス不調による連続1か月以上の休業者」の数値を参照している。
- ・高ストレス者割合: 平均値は、令和6年全国労働衛生団体連合会ストレスチェックサービス実施結果報告書より、「高ストレス者の状況」の数値を参照している。
- ・労働災害件数: 毎年7月1日から翌年6月30日(ジェットスター・ジャパンの会計年度)の発生件数である。2024年度には2024年7月1日~2025年6月30日の数値、2022年度には2022年7月1日~2023年6月30日の数値を適用している。
- ・短期目標(有給・男性育休除く): 平均値は日本航空健康保険組合に加入する事業所全体の2024年度実績平均値である。
- ・平均有給休暇取得率: 平均値は、令和6年就労条件総合調査の概況より「労働者一人平均取得率」を参照している。
- ・男性の育児休業取得率: 平均値は、令和6年度雇用均等基本調査より「育児休業取得者の割合(男性)」を参照している。
- ・特定保健指導利用率: 平均値は、日本航空健康保険組合に加入する事業所全体の2024年度実績平均値である。
- ・ストレスチェック受検率: 平均値は、厚生労働省令和6年ストレスチェックの実施状況より、「運輸交通業」を参照している。
- ・がん検診受診率: 平均値は日本航空健康保険組合に加入する事業所全体の2024年度実績平均値である。